

伊保麻呂の歌一首

一七三五番

我が畳わたみ 三重みへの川原かはらの 磯いその裏うらに かくしもが  
もと 鳴なくかはづかも

式部大倭、吉野にして作る歌一首

一七三六番

山高やまたかみ 白木綿しらゆふはな花に 落ちお激たぎつ 夏身なつみの川門かはと 見み  
れど飽あかぬかも

兵部川原の歌一首

一七三七番

大滝おほたきを 過ぎすて夏身なつみに そほり居ゐて 清きよき川瀬かはせを  
見みるがさやけさ